

## Shin-ya新聞 — サブリー —

第23号(通算47号)

—— 詳しい活動はこちらから ——



1. QRコード読み取り機能対応（バーコードリーダー付き）の携帯電話、または読み取り専用アプリで
2. QRコードが正常に読み取れた場合、表示されたURLへ

「こんなことがまかり通れば、どんな事実もなかったことにできる。そして、政府が決めたことには、どんなことでも従えということになる。近代政治、民主主義の基盤を崩すものだ」これは自らが諮問した審議会の答申を、内容が気に入らないから受け取らないとした安倍内閣に対するある政治学者の言葉です。自衛隊の日報隠し、森友・加計学園をめぐる公文書隠蔽・改ざん、様々な統計不正処理、障害者法定雇用率水増し…。国家戦略特区は官邸と一部民間人の私物化が明らかになりつつある。「あだちきよし」氏は国民の声を国政へとシンプルに訴えている。「特区」とは地方の現場の知恵を後押しする制度ではなかったか。

子ども手当も高校無償化も農業者戸別所得補償も、収めた年金保険料に応じた給付に最低保障機能を追加するといった年金制度改革も「ばらまき」と反対した政党が10年後に後追いをする。この失われた10年は日本にとって極めて大きい。

安倍内閣は「時がたてば国民は忘れる」と高をくくる。私はこの夏、「国民をなめるな」と行動したい。

令和元年6月23日 足立信也

## 街頭演説 「国民の方をしっかりと向いた政治を」

足立信也は6月16日、国民民主党大分県連代表として、これからの「地域づくり」を考える会代表・あだちきよし氏とともに街頭演説を行いました。

足立は、我々は「人への投資」「人と人との関係への投資」を訴えてきた。しかし、安倍政権は「未来への投資」と言葉は良いが、公共事業・防衛費の増額等、描く将来像が違うのではないかと訴えました。



足立の地元・戸次にて街頭演説



大分駅北口前にて

## 2019年前期 東京での活動(一部抜粋)

◆**予算委員会「平成30年度第2次補正予算」** 昨年6月に続き、今年も発生した児童虐待について、胸が張り裂ける思いであり、児童相談所の対応も含め、子ども・高齢者を守るのは政治の責任としてやっていかなければならないと訴えました。消費税については、複雑な軽減税率や、プレミアム商品券での還元、キャッシュレス等の矛盾点をあぶり出しました。また厚労省の「毎月勤労統計調査」について、監察チームのメンバー構成が平成28年から変わっており、省内だけの監察チームに有識者が入っておらず、第3者委員会の体をなしていないと厳しく指摘しました。

◆**政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部を改正する法律案」** 昨年成立させた公選法の一部改正案により参議院議員選挙でもビデオの持ち込みが可能となりましたが、衆議院と同じ公営限度額なのはなぜか、選挙期間を3日間短縮した場合の経費節減はいくらか、等、経費削減できることがあるのではないかと提案しました。

◆**厚生労働委員会「平成31年度一般会計予算、特別会計予算、政府関係機関予算(厚生労働省所管)」委嘱審査** 毎月勤労統計の統計不正問題で職員が処分され、賃金構造基本統計調査では政策統括官が更迭されたのに、その2日後には統計委員会が賃金構造基本統計調査はいいといったから、これでいいというのはおかしい、きちんと調査すべきと指摘しました。また、生活保護費が年々補正予算の財源に使われていることも指摘しました。

◆**全国幹事会・選挙担当者・政策担当者／自治体議員団等役員合同会議** 党費は組織規則で「年額4,000円を原則とし、当分の間、県連等の決定により増額することができる」。サポーター費は、2,000円で規定はない。個人後援会費は党費、サポーター費とまとめてもらってもいいが、領収書は別々に処理しなければいけない。と、地方議員からの質問に組織委員長として答えました。

国民民主党・新緑風会  
足立信也

## 2019年前期 写真で振り返る大分での活動

国民民主党大分県連新春街頭宣伝活動  
(大分市)大分市各地区新年互礼会  
(大分市)大野竹田道路開通記念式典  
(竹田市)

安信会総会並びに新春の集い

佐伯港女島地区岸壁延伸工事完成式典  
(佐伯市)春季戸次地区ミニバレーボール大会  
(大分市)大分県立武道スポーツセンター  
開館記念式典(大分市)大分空港国際線旅客ターミナルビル  
増改築工事竣工式典大分県土地家屋調査士会  
令和元年度表彰式

大分県行政書士会定時総会



大分県社会保険労務士会定時総会

大分県教組第85回宇佐高田支部  
定期大会